

富岡実業 高等学校 学校評価一覧表② (令和元年度版)

(様式2)

羅 針 盤		達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題	
評価対象	評価項目	①	②	総合				
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①各学科コースの専門教育に生徒の80%以上が満足している。	A	A	A	座学や、実験・実習等の授業改善に取り組み、91%の評価を得た。 ・登下校や地域の各種イベントに参加している生徒の姿を見て、特色ある学校づくりが定着してきたと感じている。 ・今後も、地域に根ざした学校として、地域産業の発展につながる専門教育を期待する。	産業社会の変化を見据え、1年次の学科選択に係るガイダンス及び各学科の専門教育を継続的に充実させる。 自ら興味をもち参加できるよう、各種活動の工夫・精選をさらに行う。 学習指導とともに、行事等について、生徒が達成感をもてるように工夫・魅力化を図る。	
		②地域貢献活動に積極的に参加し、その活動を評価する生徒が80%以上である。	A	A	A			参加率が増し、評価についても86%を得た。
		③自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。	B	B	B			学習指導や各種行事の充実・工夫に取り組み、80%の評価を得たが、行事の満足度は75%とやや低い。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④「授業がわかりやすい」と、生徒の70%以上が答えている。	C	C	C	授業がわかりやすいと回答した生徒は68%であったが、昨年度より4%増加した。 ・生徒の実態に応じた授業改善や資格取得指導への取組、将来に向けての目標を重視した取組が成果を上げている。 ・専門高校としての新しい取組として、ドローン協会との連携や特色ある農産物等、地域の生きた教材を活用して、未来の可能性に目を開かせてほしい。	授業評価アンケートにより生徒の実態に合わせた授業改善にさらに取り組む。また、各学期毎に成績不振者指導を充実させる。 受験者が合格できるような指導を今後も継続し、合格率をより高める。 授業規律の確立を土台に、対話的な学びやICTの活用などの工夫を行い、より広く深く興味をもたせる。 将来の目標を設定させる指導を充実させるとともに、朝学習や補習等を通して目標に向けた学習習慣を身に付けさせることや、苦手科目等の解消に向けた指導がさらに必要である。	
		⑤資格取得に向けた指導に、生徒の80%以上が満足している。	A	A	A			生徒の89%が資格取得指導に満足している。これも昨年度より4%増加した。
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑥意欲的に学習に取り組んでいると自己評価している生徒が、80%以上である。	A	A	A			授業に意欲的に取り組んでいると自己評価している生徒は86%で、昨年度より2%増加した。ただし、職員の評価は64%と開きがある。
		⑦自己の目標に応じた学力を身に付けたと自己評価している生徒が、70%以上である。	C	B	B			目標をもって勉強し学力を身に付けていると回答した生徒が、昨年度より12%増加し70%に達した。しかし、朝学習や補習等に積極的に取り組んでいる生徒は6割程度にとどまっている。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧学校は安全であり、安心して学校生活を送っていると感じている生徒が90%以上である。	C	C	C	相談しやすい雰囲気が醸成されつつあるが、学校は安全であると評価している生徒は昨年度並みの73%にとどまっている。 ・学校生活での安全・安心や、規則正しい生活習慣等に対する生徒の認識を具体的に捉えて指導する必要がある。 ・SNS等の実態把握が難しい中、生徒主体のフォーラム等の取組を具現化することが重要である。	個人面談や調査等をきめ細かにを行い迅速に対応する体勢をより整える。 卒業後の進路を見据え、出席することの大切さを伝えるとともに、長期欠者等には、家庭や関係機関と連携を密にして粘り強く対応していく。十分な睡眠を取っていない生徒が少なくないことを踏まえ、健康な生活に関する啓発や指導をより充実させる必要がある。 生徒会が中心となり、生徒一人ひとりがいじめ防止活動への意識を高め、学校全体で実践する。	
		⑨欠席率が1.2%以下、遅刻率が0.4%以下である。	C	D	D			長期欠席等により、欠席率は1.6%、遅刻率は1.0%という結果になった。
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑩毎日朝食を摂るなど、健康に留意した生活を送るよう意識している生徒が80%以上である。	C	C	C			毎日朝食を摂ると答えた生徒は昨年度並みの82%であった。一方、きちんと睡眠をとっている生徒は昨年度より4%増加したが、77%にとどまった。
		⑪いじめをしない許さない態度を身に付け、いじめ防止に向け積極的に取り組む生徒が85%以上である。	C	C	C			人の嫌がることをしないよう意識している生徒が昨年度より5%増加し95%となった。いじめ防止活動に主体的に参加している生徒は微増で71%であった。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑫進路に関する行事が進路選択に役立っていると評価する生徒が85%以上である。	A	C	B	1年次から進路関係行事の充実を図り、第1回の生徒評価は90%を得たが、第2回は84%だった。 ・若者の離職率が高い中、本校卒業生が就職先で長く続いていることは素晴らしい。これからの時代、粘り強く頑張れる力はますます必要であり、インターンシップ等の取組を有効活用し、取組をより充実させてほしい。	より内容を検討・精選し、計画的・体系的なキャリア教育を実施する。 低学年よりガイダンスを段階的に行い、意識の高揚に取り組む。 低学年からスケジュール管理に取り組み、自分の適性を理解させ、卒業後の生活を意識した取り組みを一層進める。	
		⑬インターンシップの効果を参加生徒の85%以上が肯定的に評価している。	A	B	A			2年生全員のインターンシップが定着し、目標を達しているが、若干意識の低下が見られる。
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑭自分の適性について理解し、進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が85%以上である。	C	C	C			低学年から進路に対する興味を喚起し、3年生における希望の実現に取り組んだ結果、積極的に取り組む生徒が昨年度より7%増加し79%になった。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑮PTA活動や学校行事等に1回以上参加している保護者が、80%以上である。	A	A	A	参加しやすい機会の工夫・充実を図り、PTA行事に1回以上参加していると回答した保護者は84%であった。 ・地域に支えられ、学校も地域のことをよく考え、貢献している。こうした関係を大切にしてほしい。	連絡を確実に保護者に届けるとともに、行事そのものの一層の魅力化を図る。 学校HPの定期的な更新など情報発信の一層の充実を図る。	
		⑯授業公開、学校からのメールや配付物、ホームページの閲覧等を通じて、保護者の70%以上が学校の様子を理解できている。	A	A	A			子供の学校での生活をだいたい把握していると回答した保護者は昨年度より9%増加し78%と目標を達成したが、富実の記事やHPを見たことがあると回答した保護者は63%にとどまった。